

単  
元  
名

# アルファベットを見つけよう

(Let's Try 1 Unit6 "ALPHABET")

教科書出版社名 ( 文部科学省 )

○ 小学校 ( 3 ) 年 教科等 ( 外国語活動 )

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

- ・身の回りにはどんなアルファベットの大文字があるかを、図書資料を活用して調べることができる。
- ・自分たちが見つけた言葉について、アルファベット読みをして友だちに伝えることができる。

○ 学校図書館活用のポイント

- ・英単語を表記する文字としてアルファベット探しをするため、作者 ( 筆者 ) 名の中にあるアルファベットは不可というルールを設定する。

○ 学習の展開 ( 全 4 時間 )

第 1 次

- ・アルファベットの大文字について知る。
- ・図書資料の中から、アルファベットの大文字を見つける。
- ・アルファベットの読み方を知り、自分が欲しいアルファベットカードを相手に伝える。



【取組みを終えて】

○ 学校図書館を活用した学習における成果と課題

① 成果	<ul style="list-style-type: none"><li>・身の回りのものに、たくさんアルファベットが使われていることに気づくことができた。</li><li>・活動前に「アルファベット 26 文字をコンプリートしよう！」と伝えたので、積極的に取り組む児童が多かった。</li><li>・時間が足りず、全部見つけることができなかった児童が、授業後に「もっと探したい！」「またやろう！」と意欲的であった。</li></ul>
② 課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・3年生では実施しない「書く活動」を取り入れた。ローマ字の学習前だったので、書きうつすことに時間がかかってしまった。</li><li>・「どこにどんな本があるか」を知らない児童が多かった。早急に、図書館マップの作成・掲示が必要だと感じた。</li></ul>
③ 児童の感想・ふりかえり	<ul style="list-style-type: none"><li>・たくさんアルファベットを見つけることができた。もっと探したい。</li><li>・こんなにたくさんのアルファベットがあるなんて知らなかった。</li><li>・「X」を見つけることができなかった。</li></ul>

○ 学校図書館を活用した際に注意した点や学習の中で工夫した点について

<ul style="list-style-type: none"><li>・単元の導入では、児童も内容を知っている「スイミー」の英語版の読み聞かせをした。読み聞かせをすることで、児童は外国語に興味をもって次時の活動に取り組めるようにした。</li><li>・アルファベットが書いてある本を探した後、見つけた言葉をワークシートに写す「書く」活動を入れ、アルファベット自体に慣れ親しめるようにした。</li></ul>
--